

「東京オリンピック・パラリンピック等国際大会に
向けた武蔵野市の取組み方針」に基づく行動計画

令和元(2019)年5月改定

武蔵野市

1. はじめに

「東京オリンピック・パラリンピック等国際大会に向けた武蔵野市の取組み方針」に基づく行動計画の策定

武蔵野市では、平成32(2020)年度に開催される東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会や、平成31(2019)年度に開催されるラグビーワールドカップ2019大会の開催に際し、これらの大会に向けた取組みが本市のまちづくりにとって有益なものとなり、大会後にも活かされるものとなるよう、「東京オリンピック・パラリンピック等国際大会に向けた武蔵野市の取組み方針」（以下「取組み方針」という）を平成27(2015)年度に決めました。

そしてこの度、取組み方針に基づく取組みを行動計画として一覧にまとめました。

取組み方針は多岐にわたる分野を含んでいることから、この行動計画では、大会を機に新たに行うもののほか、既に各分野の計画等に基づき進めているものについても、取組み方針の視点から充実・推進を図るものについて記載をしています。

また、オリンピック・パラリンピック等の国際大会に向けては国や都、大会組織委員会なども様々な取組みを展開させており、武蔵野市においても今後これらと連携を図りながら進めていく必要があります。今後の国や都、大会組織委員会の動向を注視しながら、必要が生じた際にはこの行動計画についても随時修正を加えていく予定です。

取組み方針に基づいて行われる様々な取組みが、大会後もレガシー（※）として本市のまちづくりに寄与するものとなるよう、行動計画の着実な推進を図ります。

なお、取組み方針及びこの行動計画の計画期間は平成32(2020)年度末までとしています。武蔵野市スポーツ振興計画の改定とあわせて平成33(2021)年度に振り返りをおこなう予定です。

(※) レガシー：「遺産」「先人の遺物」と訳される。『オリンピック憲章』においても「オリンピック競技大会のよい遺産を、開催国と開催都市に残すことを推進すること」（IOCの使命と役割）と記載されており、一般的には、建築物や都市計画、スポーツ施設、経済発展、旅行者の増加などといった有形のレガシーと、知識や文化的価値の創造、記憶、教育、共同、ボランティア、経験など無形のレガシーがあり、オリンピックが終わった後に開催都市や人々の心に残るものとされている。

2. 取組み方針

平成32(2020)年度に開催される東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会や、平成31(2019)年度に開催されるラグビーワールドカップ2019大会の開催に向けた「東京オリンピック・パラリンピック等国際大会に向けた武蔵野市の取組み方針」は以下のとおりです。

東京オリンピック・パラリンピック等国際大会に向けた 武蔵野市の取組み方針

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会や、ラグビーワールドカップ2019の開催により、日本、そして東京へと人々の注目が集まります。

特にオリンピック・パラリンピック競技大会は、スポーツの祭典とともに文化の祭典でもあり、そこにはスポーツを通じた感動体験の享受や市民の健康増進のみならず、市民文化の醸成や魅力的なまちづくり、そして共生社会の実現などの広い取組みが求められています。

武蔵野市はオリンピック・パラリンピック競技大会の持つ理念を尊重するとともに、大会に向けた取組みが本市のまちづくりにとって有益なものとなるよう、以下の取組み方針を定め、これを推進します。

- (1) まちの魅力の再発見と国内外への発信を通して、市民の力が活かされるまちづくりを進めます。**
- (2) スポーツや文化を通じた感動や交流により、一人ひとりを大切にし、多様性を活かす市民文化を育みます。**
- (3) 誰もがまち歩きを楽しめるまち、暮らしやすいまち、外国人にもやさしいまちをつくります。**

3. 行動計画のポイント

この行動計画では、取組み方針（１）～（３）それぞれに対する取組みを記載しています。

各ポイントは以下のとおりです。

取組み方針（１）

「まちの魅力の再発見と国内外への発信を通して、市民の力が活かされるまちづくりを進めます。」

取組み方針（１）の趣旨

「オリンピック・パラリンピック等の大会を機に、コンパクトな市域の中に多様な魅力の詰まったまち、新しい課題に先駆的に取組み発展してきたまちである武蔵野市の強みを市民が改めて見つめ直すとともに、国内外へ発信していきます。この取組みを通して、市民がまちに一層の愛着を持ち、大会後もまちづくりに関わる機運を醸成することで、地域活動の活性化へとつなげていきます。」

行動計画のポイント

取組み方針（１）の実現に向け、以下の取組みを実践します。

- ・市民とともに大会に向けた取組みを進めるため、市内関係団体による実行委員会を設置します。
- ・市民とのワークショップや、大学、（一社）武蔵野市観光機構等との連携、中高生世代広場との意見交換等を行い、本市の持つ魅力や強みをまとめてこれを発信します。このことを通じて、市民の市に対する愛着心も育みます。
- ・オリンピック・パラリンピックの取組みだけでなく、広く市政情報等についても、多様な媒体を活用した発信を進めます。

取組み方針(2)

「スポーツや文化を通じた感動や交流により、一人ひとりを大切にし、多様性を活かす市民文化を育みます。」

取組み方針(2)の趣旨

「市民一人ひとりが生き生きと暮らせるまちづくりを進めるため、障害の有無、性別、年齢その他の条件に関わらず、誰もが多様なスポーツ・文化活動に参加できる機会をつくります。また、ホストタウンとしての取組みなど、オリンピック・パラリンピック等の大会に関連する様々な感動や出会いを機に、他者理解、世代間交流、異文化理解などを通して、互いの人権を尊重し合う市民文化を育みます。」

行動計画のポイント

取組み方針(2)の実現に向け、以下の取組みを実践します。

- ・Sports for Allイベントによる感動体験の機会の提供をはじめ、障害者スポーツを実施・体験する機会を充実するなどスポーツの振興を図ります。
- ・ホストタウンによる国際交流の推進や、平和施策の充実、オリンピック・パラリンピック教育の実施などにより、多様性を理解し一人ひとりを大切にする市民文化を育みます。
- ・アール・ブリュット(※)展の開催や、市民の文化・芸術活動の支援、魅力的な文化・芸術プログラムの提供により、市民が文化・芸術に親しむ機会の充実を図ります。

(※) アール・ブリュット：フランス語で「生(き)の芸術」の意。フランスの画家ジャン・デュビュッフェにより提唱された「美術教育を受けていない人などが、既成の表現法にとらわれず自由に制作した作品」をいう。狭義には障害者の作品や芸術文化を指す。

取組み方針(3)

「誰もがまち歩きを楽しめるまち、暮らしやすいまち、外国人にもやさしいまちをつくれます。」

取組み方針(3)の趣旨

「オリンピック・パラリンピック等の大会開催に向けて、ユニバーサルデザインによるまちづくり、景観や環境への配慮、外国語対応もできるまち案内ボランティアの充実などの取組みを進めます。これらを通して、市民も来街者もまち歩きを楽しめるまち、暮らしやすいまち、外国人にもやさしいまちをつくり、ハード・ソフト両面から武蔵野市のまちの魅力を高めていきます。」

行動計画のポイント

取組み方針(3)の実現に向け、以下の取組みを実践します。

- ・武蔵野市バリアフリー基本構想や、公共サインガイドラインによる取組みを進め、誰もが訪れたいくなるまちを目指してユニバーサルデザインによるまちづくりを推進します。
- ・外国からの旅行者など来街者を意識した観光都市としての取組みを進め、大会後も国内外から人が訪れる魅力あるまちづくりを推進します。
- ・オリンピック・パラリンピック競技大会では、スポーツ、文化に続き環境も柱に挙げられています。環境への取組みを着実に進めるとともに、防災・安全への取組みについてもこれを進め、安心して住み続けられる持続可能なまちづくりを推進します。

武蔵野市の行動計画

| | 平成27年度(2015) | 平成28年度(2016) | 平成29年度(2017) | 平成30年度(2018) | 令和元年度(2019) | 令和2年度(2020) | 令和3年度(2021)～ | |
|---|-----------------------|------------------------------|-----------------------------|---|--|------------------------------|--------------|--|
| 主な行事 | ラグビーワールドカップ2015 | オリンピック・パラリンピック リオデジャネイロ大会 | (オリンピック・パラリンピック冬 季大会:平昌) | (サッカーワールドカップ:ロシ ア) | ラグビーワールドカップ2019 オリンピック・パラリンピックテストイベント | 2020東京オリンピック・ パラリンピック競技大会 | | |
| <p>■ 取組み方針の実践 方針(1) まちの魅力の再発見と国内外への発信を通して、市民の力が活かされるまちづくりを進めます。</p> | | | | | | | | |
| 市民とともに進める大会に向けた取組み | 実行委員会の設置 | | 市内関係団体との協議、調整 | 市内関係団体による実行委員会の設置 実行委員会内に分科会の設置、取組み協議 | 実行委員会によるオリンピック・パラリンピック等国际大会に向けた取組みの展開 | | | |
| 武蔵野市の強み・魅力の再発見 | 2019年、2020年に向けた市の魅力発信 | | 庁内検討、関係団体と調整 | 市民ワークショップ、大学・(一社)武蔵野市観光機構等と連携した本市の魅力再発見の取組み | 市民等とともに市の魅力の発信 | | | |
| | 大学との連携 | | | | | | | |
| | (一社)武蔵野市観光機構等との連携 | | | | | | | |
| | 中高生世代広場との連携 | | | 市の魅力について意見交換 | | | | |
| 地域人材、資源の活用 | | | | 市内企業・団体等との連携や東京都との協力による地域の魅力の発信 | | | | |
| 多様な情報提供媒体を活用した市情報の発信 | 市報、ホームページの充実 | | 市ホームページのリニューアル | 効果的な情報の発信、情報バリアフリーの充実等 | | | | |
| | SNS等の活用 | | | (公財)武蔵野生涯学習振興事業団や(公財)武蔵野文化事業団等と連動した情報の発信 | | | | |
| | 外国に向けた情報発信 | | | 外国に向けた情報発信の検討・実施 | | | | |
| 大会関連情報の発信 | ホームページ・SNS等の活用 | | 専用フェイスブックページ開設 | SNS等を活用したオリパラ関連情報の発信、市ホームページ内に大会関連情報を集約し発信 | | | | |
| 市民ボランティアの裾野の拡大 | 市民ボランティアの裾野の拡大 | | | 大会ボランティア(組織委員会)や都市ボランティアと連携した本市ボランティアの仕組みの検討、実施 | | | | |
| | 多様な能力をもった職員の育成 | | | 大会を機に訪れる来街者に向けた取組み | | | | |
| | | | | 職員の語学力(ホスピタリティ含む)の向上、ホストタウンへの取組みなど組織を超えて活動し、市民ボランティアとともに活動する職員の育成 | | | | |

| | 平成27年度(2015) | 平成28年度(2016) | 平成29年度(2017) | 平成30年度(2018) | 令和元年度(2019) | 令和2年度(2020) | 令和3年度(2021)～ |
|---|-----------------|-------------------------------------|---|--|---|--|--|
| 主な行事 | ラグビーワールドカップ2015 | オリンピック・パラリンピック リオデジャネイロ大会 | (オリンピック・パラリンピック冬 季大会:平昌) | (サッカーワールドカップ:ロシ ア) | ラグビーワールドカップ2019 オリンピック・パラリンピックテストイベント | 2020東京オリンピック・ パラリンピック競技大会 | |
| ■ 取組み方針の実践 方針(2) スポーツや文化を通じた感動や交流により、一人ひとりを大切に、多様性を活かす市民文化を育みます。 | | | | | | | |
| オリンピック・パ ラリンピック教 育の推進 | | 学校ご との全体計 画・年間 指導計画 の作成 | オリンピック・パラリンピ ック教育準備期間(～8月) | 第Ⅰフェーズ・オリンピック・パラリンピ ック教育を本格的に開始する期間 | 第Ⅱフェーズ・大会参加国への理解・交流等を深め障害者理解 やボランティア活動等の取組を一層活発化させる期間 | 第Ⅲフェーズ・大会や関連事業を直接・間接に子どもたちが支え、体験する取組 を行い、大会終了後も引き続き有効な取組を継続していく | |
| | | | 重点的に育成すべき5つの資質(ボランティアマインド、障害者理解、ス ポーツ志向、日本人としての自覚と誇り、豊かな国際感覚) 5つの資質を伸ばすための4つのプロジェクト(東京ユースボランティア、 スマイルプロジェクト、夢・未来プロジェクト、世界ともだちプロジェクト) | | 共生社会形成の担い手として、必要な資質である「ボランティアマインド」、「障害者理解」、「豊かな国際感覚」を重点的に育成 家庭や地域等と連携を図りながら、「学校2020レガシー」の構築(東京ユースボランティア、スマイルプロジェクト、夢・未来プロジェクト、世界ともだち プロジェクト、スクールアクション「もったいない」大作戦) | | |
| | | | オリンピック・パラリンピック教育 重点校の指定(境南小・単年度) | | | | |
| 市民の国際理 解、多様性の 理解の促進 | | | | ルーマニアからの来訪者(市民留学生)との交流 | | | |
| | | | | | 国際交流協会等と連携した国際交流、国際理解の場の提供 | | |
| | | | | | | 心のバリアフリー出前講座の展開 | |
| | | | | | | | 第四次男女平等推進計画に基づく「性の多様性を理解し尊重する意識・体制づくり」 |
| 平和に向けた 取組みと国際 交流・都市間 交流の推進 | | 申請・ 登録 | 有識者懇談会設置 | 事業推進実行委員会設置 | ルーマニアとの相互交流(文化・スポーツ) | | |
| | | | 桜まつり等のイベントでの啓発活動 | | | | |
| | | | リオ大会と連動した物産展 | ルーマニア応援募金の実施 | 市民周知・ルーマニア紹介(展示・講座・物産展等) | | |
| | | | 啓発品の作成 | 啓発品の配布 | | | |
| | | | | | | 学校教育(ともだちプロジェクト)と連携した教育・交流プログラムの実施 | |
| | | | | | | 文化プログラム(音楽コンサート等)と連動した取組みの実施 | |
| 平和の発信 | | | | | | オリンピック・パラリンピック等国際大会と連動した平和プログラムの実施 | |
| | | | | | | オリンピック・パラリンピック教育や文化プログラムと連動した平和プログラムの実施 | |
| 友好都市との交流の推進 | | | | | | 国内外の友好都市との連携の充実。スポーツ・文化交流の検討・充実 | |

| | | 平成27年度(2015) | 平成28年度(2016) | 平成29年度(2017) | 平成30年度(2018) | 令和元年度(2019) | 令和2年度(2020) | 令和3年度(2021)～ | |
|---|--|-------------------------|--|---|---|---|--|--------------|--|
| 主な行事 | | ラグビーワールドカップ2015 | オリンピック・パラリンピック リオデジャネイロ大会 | (オリンピック・パラリンピック冬 季大会:平昌) | (サッカーワールドカップ:ロシ ア) | ラグビーワールドカップ2019 オリンピック・パラリンピックテストイベント | 2020東京オリンピック・ パラリンピック競技大会 | | |
| スポーツを通じた感動体験の共有、障害者スポーツの環境整備の充実などによるスポーツの振興と健康施策の充実 | Sports for Allイベントの実施・障害者スポーツの振興・スポーツを支える人材への支援 | スポーツ振興計画一部改定 | Sports for Allイベントによるスポーツの振興・啓発 | | | | | | |
| | | | 国や都、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会、ラグビーワールドカップ組織委員会との協力事業の実施 | | | | | | |
| | | | 体育協会やスポーツ推進委員、その他団体との連携、地域スポーツクラブとの相互協力による、市民が日常的にスポーツに親しむ環境の整備 | | | | | | |
| | | | リオデジャネイロオリンピック・パラリンピック競技大会 出場選手紹介、PV実施 | フラッグツアー等 冬季オリンピック・パラリン ピックの取組み | サッカーW杯のPV等 | ラグビーワールドカップ 2019開催関連イベント | 東京2020オリンピック・パラ リンピック競技大会開催関 連イベント | | |
| | | | オリンピック・パラリンピック、ラグビーワールドカップに向けた事前キャンプ地、公認キャンプ地の受入れ | | | | | | |
| | | | 学校教育との連携による子どもたちへの運動習慣の定着と体力向上の機会の創出 | | | | | | |
| | | | 車椅子バスケット ボール大会の観戦 シッティングバレー ボール全日本女子 合宿 | No Limits Challenge事業協力 シッティングバレー大会誘致 パラリンピック競技者発掘事業協 力 車椅子バスケット大会の観戦 等 | No Limits Challenge事業協力 都事業と連携した障害者ス ポーツの紹介、振興 車椅子バスケット大会の観戦 | 都事業と連携した障害者スポーツの紹介、振興 都障害者ポッチャ大会の観戦、ポッチャ武蔵野カップの開催、ポッチャ東京 カップの誘致、シッティングバレーボール大会誘致等 | | | |
| | | | 障害者スポーツ指導員資格 取得の奨励・支援 ニュースポーツ研修 障害者の運動習慣定着に向 けた環境整備 | | | | | | |
| | | | ユニバーサルスポーツの普及・啓発イベント等開催 ユニバーサルスポーツの研修・指導者育成 スポーツ推進委員との連携による地域への普及活動 障害者スポーツの手引きの作成 誰もが使いやすい施設の整備 | | | | | | |
| | | | 体育施設の改善・機能 強化 | | 体育施設改善工事設計等 (メインアリーナ・サブアリー ナ天井、陸上競技場施設) | 体育施設改善工事 | 体育施設改善工事 バリアフリーチェック | 体育施設老化調査 | |
| 運動習慣定着化の促進 | | | 基礎調査 | 事業設計 | プログラムの試行 | 市民の運動習慣定着化を促すプログラムの検討・実施 | | | |
| ウォーキングルートの活 用 | 武蔵野健康づくり事業団と市ウォーキング協会 の連携によるウォーキングマップの作成 | ウォーキングマップ配布・今後の活用・検討・展開 | | | | | | | |
| 健康に対する意識の向 上 | 市民の健康に対する意識向上に向けた啓発活動、普及事業の充実 | | | | | | | | |
| 文化振興に関する方針 の策定 | | 基礎調査 | 方針策定委員会の設置、検討 | 方針策定、方針に基づく文化施策の実施 | | | | | |
| 市民の文化・芸術に対 する支援 | NPO補助金、生涯学習事業費補助金、子ども文化・スポーツ体験活動団体支援事業費補助金等を活用した市民の文化・芸術活動の支援 市内の芸術・文化等活動団体に対する支援 | | | | | | | | |
| 魅力的なプログラムに 触れる機会の提供 | | | 文化・芸術活動に挑戦する市民を支援するプログラムの検討・実施 | | | | | | |
| 自国文化、本市の歴史・ 文化の理解と発信 | | | ルーマニア関連文化プログラム(音楽コンサート等)、国際オルガンコンクールなど、国際色豊かな文化プログラムなどの実施 国内の文化施設と連携した文化プログラムの提供 | | | | | | |
| 誰もが文化・芸術を発 信し享受できる社会の 実現 | | | 自国文化、本市の歴史・文化を理解する生涯学習プログラムの充実 | | | | | | |
| | | アール・ブリュット検討 | 実行委員会立ち上げ、準備 | アール・ブリュット展の開催 | | | | | |
| | | 本市の歴史や文化の発信 | | | | | | | |

| | 平成27年度(2015) | 平成28年度(2016) | 平成29年度(2017) | 平成30年度(2018) | 令和元年度(2019) | 令和2年度(2020) | 令和3年度(2021)～ | |
|--|-------------------------------|---|-----------------------------|------------------------------------|--|------------------------------|--------------|--|
| 主な行事 | ラグビーワールドカップ2015 | オリンピック・パラリンピック リオデジャネイロ大会 | (オリンピック・パラリンピック冬 季大会:平昌) | (サッカーワールドカップ:ロシ ア) | ラグビーワールドカップ2019 オリンピック・パラリンピックテストイベント | 2020東京オリンピック・ パラリンピック競技大会 | | |
| ■ 取組み方針の実践 方針(3) 誰もがまち歩きを楽しめるまち、暮らしやすいまち、外国人にもやさしいまちをつくれます。 | | | | | | | | |
| ユニバーサル デザインによる まちづくりの 推進 | | 武蔵野市バリアフリー基本構想に基づくバリアフリー化の推進 | | | | 武蔵野市バリアフリー基本構想改定の 検討 | | |
| | | 公共施設等のバリアフリー化の推進、心のバリアフリー、ICT活用によるソフト面のバリアフリー化の推進 | | | | | | |
| | | 重点整備地区内の整備強化地区の検討・整備 | | | | | | |
| | | 庁内連絡調整会議の設置及び運営 | | | | | | |
| | | 公共サインガイドラインによるサイン表示の改善・デジタルサイネージ等の検討 | | | | | | |
| | | 多言語化への対応(ICTを活用した外国人に対するまち案内の検討・実施等) | | | | | | |
| 次代に引き継 ぐ環境の取組 み | エネルギーの 地産地消推進 | 新クリーンセンター(仮称) 工事・エネルギー利用検討 | | 周辺公共施設へのエネルギー供給、地域との連携、PR | | | | |
| | | 新エネルギー導入検討、導入、効果検証、PR | | | | | | |
| | | 市域全体のエネルギー消費量の低減(家庭・事業者への呼びかけ・支援)、PR | | | | | | |
| | 環境啓発 | 事業検討 | | エコプラザ(仮称)と絡めた環境PRイベントの検討・実施 | | | | |
| | | 環境フェスタ等による啓発、水の学校等による環境学習の推進 | | | | | | |
| 暑さ対策 | 熱中症対策・クールスポットの設置支援 | | | | | | | |
| 誰もが訪れた くなる観光都 市づくりの推 進 | 景観まちづくりの推進 | 景観ガイドライン検討 | | 景観ガイドライン公表・景観ガイドラインにもとづく景観まちづくりの推進 | | | | |
| | | 来街者を意識した景観・環境の周知・啓発 | | | | | | |
| 誰もが訪れた くなる観光都 市づくりの推 進 | 商業の振興、魅力的な 観光都市に向けた取組 み | wi-fi環境の整備・充実 | | | | | | |
| | | ターゲット別事業の検討・展開(例=親子対象:ベビ吉、外国からの来街者対象:ロッカー・トイレ・wi-fi・デジタルサイネージ等) | | | | | | |
| | | 第二期観光推 進計画の策定 | | 第二期観光推進計画に基づく取組みの推進 | | | | |
| | | 多言語化への対応(ICTを活用した外国人に対するまち案内の検討・実施等) ※再掲 | | | | | | |
| | | 井の頭公園と連携した取組みの検討・実施 | | | | | | |
| | | | | | | 旅行者の受入れ体制の検討・整備(宿泊、医療等) | | |
| | | 外国人旅行者も想定した着地型観光プログラムの検討・実施 | | | | | | |
| | | | | 第二期産業振興 計画の策定 | | 第二期産業振興計画に基づく取組みの推進 | | |

| | | 平成27年度(2015) | 平成28年度(2016) | 平成29年度(2017) | 平成30年度(2018) | 令和元年度(2019) | 令和2年度(2020) | 令和3年度(2021)～ |
|------------------|----------------------|-------------------------------------|------------------------------|---|-----------------------|--|------------------------------|--------------|
| 主な行事 | | ラグビーワールドカップ2015 | オリンピック・パラリンピック リオデジャネイロ大会 | (オリンピック・パラリンピック冬 季大会:平昌) | (サッカーワールドカップ:ロシ ア) | ラグビーワールドカップ2019 オリンピック・パラリンピックテストイベント | 2020東京オリンピック・ パラリンピック競技大会 | |
| 安心・安全に 向けた取組み | 防災施策の着実な推進 | 地域防災計画修正 | | 地域防災計画に基づく防災設備等の整備 (案内板設置、ハンドブック作成(インバウンド、聴覚障害者対 | | | | |
| | | | 地域防災計画に基づくマニュアル検討・作成 | | | 防災訓練を強化して実施 | | |
| | 国民保護計画に基づく 取組みの推進 | | 国民保護計画修正検討 | | 国民保護計画変更 | | 国民保護計画に基づくマニュアル検討・作成 | |
| | | | 関係機関との協議、連携による訓練の実施等 | | | オリンピック・パラリンピックに即したテロ対策訓練の実施 | | |
| | 安全なまちづくりの推進 | 防犯の取組みの推進、啓発など、来街者も安心して過ごせるまちづくりの推進 | | | | | | |